

郵趣振興協会 活動報告 (33)

第 9 期 (2025 年度) 第 1Q

2025 年 3 月 3 日～2025 年 6 月 16 日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会(以下「当協会」と略す。)は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で正会員・賛助会員にお伝えすると共に、無料で掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

全国切手展「スタンペックス ジャパン 2025」等が無事終了。

全国切手展「スタンペックスジャパン 2025 (2025/3/29-3/31 開催、以下、スタンペックス)」およびフィラテリストの交流を目的とする宴会「ジャパン・フィラテリスト・サミット 2025 (2025/3/29 開催、以下、サミット)」は、当協会の正会員・賛助会員の会費、および寄付により無事運営され成功裏に終了しました。

スタンペックスとサミットの活動については、2024 年より活動報告書 (A4 判フルカラー 20 ページだて冊子、右図) を発行し、当協会の正会員・賛助会員の皆様等に郵送させていただいておりますので、同冊子をご参照いただければ幸いです。



総会を開催、新役員を選任

当協会は、2023年に就任した役員(理事・監事)の任期が2025年3月31日で終了することを受けて、昨年末から理事・監事への立候補をはかっておりましたが、理事5名・監事1名の立候補がありましたので、全員を候補として役員の選任を行う総会を開催することを3月17日の理事会で決定しました。

これを受けて、3月25日に総会を開催し、投票の結果、全員が選任されました。なお、総会終了後に開催された理事会で、吉田敬を代表理事とすることが決定しました。以下が新しい役員となります。

理事 吉田敬(理事長) 菊地恵実 中野健司 水谷行秀 横山裕三
監事 守川環

総会を開催、第8期決算および第9期予算を承認

当協会の第8期(2024/4/1-2025/3/31)決算および第9期予算(2025/4/1-2026/3/31)がまとったことを受けて、これらを承認すると共に、総会を開催し正会員にはかることが、4月18日の理事会で決定しました。これを受けて、5月19日に総会を開催し、投票の結果、決算・予算の両案とも承認されました。

第8期決算についてですが、活動計算書（商法上の法人における損益計算書に当たります）によれば、第8期の経常収益は 2,478,518 円、経常費用は 1,881,656 円で、単年度で見ると 596,863 円の黒字となりました。

第8期は、全国切手展「スタンベックスジャパン 2025」と「ジャパン・フィラテリスト・サミット 2025」のより高度な運営に注力する傍ら、郵博特別切手コレクション展およびオンライン会議システムを活用した郵趣研究会例会の技術支援および宣伝協力を年間を通して実施しました。

これらの事業に使用する経常費用を多少増加させましたが、ここ数年の当協会の活動についてご評価くださった方が増加したことにより、寄付が 614,000 円から 1,271,800 円に増加したため、最終的に大きな黒字で終わることができました。

続いて第9期予算ですが、第8期に大きく上振れした寄付金の水準を下げた点以外は、経常収益、経常費用とも、第8期決算とほぼ同額に設定しています。

収益の面では、会員が増加することに加えて、2期前の第7期と同程度の寄付金が入り、事業も同程度にまわることを前提としています。なお、寄付金を確実に確保する為に「スタンベックスジャパン 2026」と「ジャパン・フィラテリスト・サミット 2026」の支援スポンサーに対しては、寄付金の増額を打診しております。

以上が概略となりますが、詳細の資料（総会に提出された会計資料）につきましては、当協会ホームページに 2025 年 5 月 25 日付で後悔しておりますので、合わせてご覧ください。

会員の異動に関するご紹介（2025/4/1-6/11）

当該期間に、5名の新会員をお迎えすることができました。また昨年までの賛助会員の方2名に正会員へ移籍いただきましたので、ご紹介させていただきます。頂戴した会費・寄付金につきましては、総会の決議に従い、大切に使用させていただきます。

正会員への移籍：鈴木盛雄 様、水谷行秀 様

新入会：城野隆三 様、町田敏郎 様、立山一郎 様、小藤田紘 様、手嶋康之 様 順不同

寄付に関する報告

本ニュースレター発行期間内に、当協会に頂戴した寄付は 59,800 円（3 件）です。なお当協会の活動において、会費も寄付的な性格が強いですが、会計上は寄附金とは別項目で計上しています。

会費・寄附金のいずれも、郵趣振興に関する公益団体である当協会の活動にご共感いただき頂戴した事業資金になりますので、当協会だけでなく広く郵趣振興の役に立つよう、総会の決議に従い、大切に使用させていただきます。

スタンベックスジャパン運営寄附（1口二千円）にご協力くださった皆様 2 件 53,800 円

郵趣文献部門出品作品の内、未返品文献の競売成約値 23,800 円、許 填 様（15 口）

それ以外の寄附 1 件 6,000 円（鈴木盛雄様）

各種事業の進捗について

当協会は5つの事業「エキシビション事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」を行っています。当クォーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

エキシビション事業

第6回全国切手展 スタンベックスジャパン2025の開催

3/27 設営作業の実施

3/28 審査委員会による審査の実施

3/29-3/31 展覧会の開催（運営）

4/1 撤去作業の実施

ジャパンフィラテリストサミット 2025 の開催（3/29, 55 名参加）

郵博 特別切手コレクション展（2025 年度）の開催

6/14-6/15 第8回南方占領地のフィラテリー展（博物館展示のみ）

リサーチ及び研究推進事業

講演講師

6/7「第32回JPS東北郵趣大会2025 in 仙台（JPS北海道・東北地方本部、仙台支部主催）」にて「うだつの上がない会社員が郵趣はまったら世界が一気に広がった話」を講演。29名聴講（担当：菊地恵実 理事）

ZOOM 講演

6/8「国際切手展の審査の動向に関する報告」を開催。19名聴講（担当：吉田敬 代表理事）

フィラテリックPR事業

情報発信を実施（ブログ：3-5月で19件。対前四半期+137.5%。他にX(旧Twitter)を実施）

(1) 当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催（3月-6月）

日本切手研究会 4回

外国切手研究会 4回

昭和切手研究会 4回

南方占領地切手コレクターズクラブ 4回

(2) 取材対応

韓国郵趣連盟（The Philatelic Federation of Korea）機関紙「WOOPYO」5月号にて当協会の活動紹介。（担当：横山裕三 理事、3/28 ほか）

朝日新聞社東京本社デジタル企画報道部、「30年ぶりの「7」並び日付に対する郵趣家の反応」について。（担当：水谷行秀 理事、6/7）

総務ほか

理事会の開催 2025年3月17日、3月25日、4月18日

総会の開催 2025年3月25日（役員の改選）

総会の開催 2025年5月19日（第8期決算承認、第9期予算承認）

総会決議を受けて、法務局への登記・都庁への資料提出作業（継続中）

日常的な経理業務、問い合わせ業務対応

（事業進捗の報告者：理事 菊地 恵実）